

令和6年度「県大へ行こう—授業公開週間—」公開科目・概要

コミュニケーション障害学コース

※1限 9:00~10:30 2限 10:40~12:10 3限 13:00~14:30

4限 14:40~16:10 5限 16:20~17:50

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
22日・5限	音声学	津田 哲也	4204教室	3名
本講義は、コミュニケーション障害学コース・コース選択1年生を対象に、音声学の基礎的知識である音声記号の修得を目指す。当日は国際音声記号における子音の分類法について紹介する予定である。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
15日・2限	発達系障害学概論Ⅱ	細川 淳嗣	4209教室	5名
本講義はコミュニケーション障害学コース2年生を対象とした、小児期の言語・コミュニケーションの障害に関する障害別の基礎知識（障害の特徴、原因、評価方法、支援方法）の習得を目的とした講義である。当日は、限局性学習症（学習障害）の評価方法や原因別の支援方法について講義する。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
22日・2限	発達系障害学概論Ⅱ	細川 淳嗣	4209教室	5名
本講義は、コミュニケーション障害学コース2年生を対象とした、小児期の言語・コミュニケーションの障害に関する障害別の基礎知識（障害の特徴、原因、評価方法、支援方法）の習得を目的とした講義である。当日は、注意欠如多動症（ADHD）について講義する。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
25日 1・2限	発達系障害学演習Ⅲ	細川 淳嗣	4209教室	5名
本演習は、コミュニケーション障害学コース3年生を対象とする、小児期の言語・コミュニケーションの障害の評価と支援方法を患者さんの検査などの情報を統合して学生自身が考えることを目的とした演習である。当日は、グループで評価報告を作成し、それに基づいて立案した訓練計画を発表する。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
17日 1・2限	認知系障害学演習Ⅲ (支援)	坊岡 峰子	4209教室	5名
本演習は、コミュニケーション障害学コース3年生を対象とした授業です。今回の2コマで、認知症の種類や症状の解説、簡易検査の実施方法、言語聴覚士としての役割などを講義します。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
23日・2限	福祉と社会問題	坊岡 峰子	4209教室	5名
本講義は、コミュニケーション障害学コース2年生を対象とした必修科目です。児童に関する福祉制度の概要を講義し、特になんらかの発達・コミュニケーションに障害のある子どもに対する言語聴覚士の専門性を生かした支援について講義する。				

日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
17日 4・5限	聴覚系障害学演習Ⅰ (基礎聴覚検査)	長谷川 純	4103 講義室	5名
本演習は、コミュニケーション障害学コース2年生を対象とした必修科目です。さまざまな聴覚検査の実施方法や検査結果の解釈のしかたを学び、言語聴覚士に必要な知識・技術を身につけます。当日は、聴覚障害の原因について情報を得るための「自記オージオメトリー」と専用の機器を使って内耳の機能を測定する「耳音響放射(OAE)」の2つの検査を演習します。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
18日 3・4限	発声発語嚥下系障害学 演習Ⅲ	矢守 麻奈	4209 教室	5名
本演習は、コミュニケーション障害学コース3年生を対象とした必修科目です。摂食嚥下機能の評価・訓練とともに、認知・言語・聴覚・発声発語機能や「栄養状態への配慮を含めて対象者の全体像をとらえ、適切な摂食嚥下リハビリテーション・プログラム（基礎的嚥下訓練や摂食訓練：代償姿勢・嚥下や一口量・食物形態の調整等）の企画・遂行が可能となるのが目標です。当日は模擬症例を提示し、評価法やリハビリテーション技法を選定し、実技演習を行います。				
日・時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
18日 1限	認知系障害学概論Ⅱ	津田哲也	4209 教室	5名
本講義は、コミュニケーション障害学コース2年生を対象とした、成人の言語・コミュニケーションの障害のなかでも特に失語症に関する基礎的な知識を紹介します。失語症といっても多様なタイプがありますが、代表的なタイプについて学びます。				